

FINESPEC 2.4G

★ ★
TAMIYA
取扱説明書

タミヤRCシステム ファインスペック2.4G 4チャンネルRCプロポセット

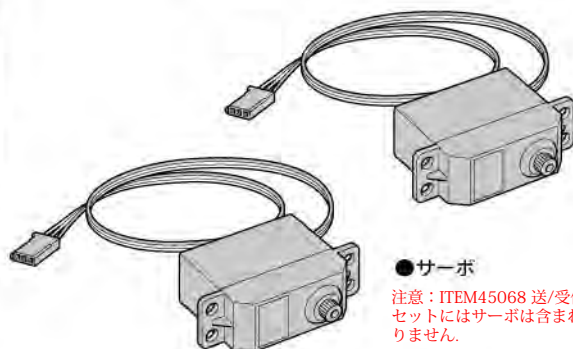
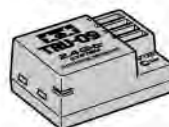
ファインスペック2.4G 4チャンネルRCプロポセットは、送信機にスティックタイプを採用。各チャンネル用のトリムレバーはもちろん、戦車やトレーラーの多彩な機能にワンボタンで対応する、ファンクションボタンを10個装備しました。また、液晶画面でファンクションボタンの設定をはじめ、出力するチャンネル位置が変更できるチャンネルスワップ、サーボのエンドポイント調整など、様々なセッティングができ、各種の情報表示も可能です。さらに、独自にセッティングしたデータを最大5機種までメモリーできるのも特徴です。

●本取扱説明書はファインスペック2.4G 4チャンネル（送信機・受信機・サーボ）用です。
お買い上げのセット内容をよく理解して、操作の前に本説明書を必ず読んでください。また、本書は大切に保管し、必要な時に読んで、ラジオコントロールシステムを安全に使用してください。



●送信機

●受信機



●サーボ

注意：ITEM45068 送/受信機セットにはサーボは含まれておりません。

※製品により使用するサーボの数が異なります。
※車種によりサーボ延長コードやオプション用サーボが別途必要な場合があります。

目次

●安全にお使いいただくために	
2.4GHzシステム上の注意	P.2
使用上の注意	P.2
走行させる手順	P.16
●お使いになる前に	
各部の名称	P.3
送信機の電池の入れ方	P.4
基本操作	P.5、P.6
RCTR トレーラー用プロポ・シフトゲート	P.16
●機能設定	
MENU画面の呼び出し方	P.7
MENU画面	P.7
SETTING画面	P.8

BUTTON FUNCTION	P.9
タイプの選択	P.9
ファンクションボタン設定変更	P.10
ファンクションボタン初期設定	P.10、P.11
CHANNEL SWAP	P.12
CHANNEL REVERSE	P.13
SUB TRIM	P.13
END POINT	P.14
FACTORY RESET	P.13
BIND（ペアリング）	P.14
フェイルセーフ設定	P.14
MODEL MEMORY	P.15
RF ON/OFF	P.7

2.4GHzシステムを安全にご利用いただくための基本的な注意事項

- ご使用の際は製品の取扱説明書や注意書をよく読んでください。
- 当システムは電動カーおよび電動タンク専用です。エンジンカーや飛行機等には使用できません。
- 2.4GHz周波数帯はRC（ラジオコントロール）専用の周波数ではありません。この周波数帯は電子レンジ、無線LAN、デジタルコードレス電話、オーディオ、ゲーム機や携帯電話のBluetooth、VICSなどの近距離通信に利用されるISM（産業・科学・医療）バンドと共用されているため、都市部では2.4GHzシステムの操縦レスポンスが低下する可能性があります。また、アマチュア無線、移動識別用構内無線にも使用されているため、これらの影響に注意して使用してください。なお、既設の無線局に有害な電波干渉を与えた場合は、速やかに電波の送信を停止し、干渉回避対策を実施してください。
- 走行場所では、送受信機に影響を与える可能性のある機器の使用は最小限にし、事前に安全性を確認してください。また、サーキットなど施設の管理者の指示に従ってください。
- 同一走行場所では、同時に使用する2.4GHzプロボの台数を15台以内にしてください。同時に使用する2.4GHzのプロボの台数がかかるように施設のボード等を利用してください。
- 建物や鉄塔、樹木の後ろなど、電波の到達をささげる走行をすると、操縦レスポンスが低下したり操縦不能になる場合があります。常に目視で確認できる範囲で走行してください。
- 日本国内では、電波法に基づく技術基準適合証明試験を受け、認証番号を取得した製品しか使用できません。
- 海外からの輸入品等、認証ラベルが貼られていないプロボの使用は電波法違反になります。

●本製品は日本国内の電波法に基づく技術基準適合証明試験に合格した無線モジュールを内蔵しています。そのため認証ラベルは外部に貼られていませんが、日本国内では支障なく使えます。
形式：2.4GTU-02
番号：R|007-AF0124


2.4GHz送信機操作時の注意事項

- 送信機のアンテナには構造上、電波の弱い方向があります。（P3を参照して注意してください。）
 - 走行中は送信機のアンテナ部（内蔵）を握らないでください。また送信機のアンテナ部に導電性の板やステッカーなどを貼らないでください。
- ※電波の出力が弱くなるため、受信距離が短くなり危険です。
- 他の2.4GHzシステム等からのノイズの影響により電波が届かなくなる場合があります。ご使用前の動作テストや、使用中にこのような状況がある場合は使用を中止してください。

2.4GHz受信機搭載時の注意事項

- 振動が大きい場所、電気ノイズ・機械ノイズが多い場所への搭載は避けてください。
- 強い衝撃や振動を与えないでください。厚手の両面テープなどを使用し防振対策をおこなってください。

使用上の注意

- ★使用者や他の人への危害、財産への損害を未然に防止し、安全に楽しく使用するために、下記の注意点を必ず守ってください。なお、取扱説明書中のマーク（)は重要な注意事項です。必ず実行してください。
 - 受信機（TRU-09）電源は、必ず4.8～6Vを使用してください。
 - ★受信機用電源には、乾電池を使わないでください。
 - ★タミヤ製ESC TEU-101BK、TEU-104BKは受信機電源（BEC電源）が供給できないために使えません。
 - 他社製サーボ、マルチファンクション等は使えません。
 - 模型用以外に使用しないでください。
 - 本製品を海外に持ち出す場合、その国の電波法で認可されていないと使用することができません。
- 模型以外の用途で使用するには、輸出貿易管理令で規制される場合があります。輸出許可申請等の法的手続きが必要です。



●使用する前に保護者の方といっしょに説明書をよく読んでください。



●小さな子供のいる場所での操作はしないでください。



●わからないところは、保護者の方やRCに詳しい人に教えてもらう。



●プロボセットの分解、改造は絶対にしないでください。

《送信機》

コントロールボックスとなるもので、車輛の向きを変えたりスピードコントロールなどのスティック操作を電波信号に変えて発信します。
工場出荷時はファンクションボタンが未設定のため、ボタンを押しても作動しません。ファンクションボタンの設定を行ってください。



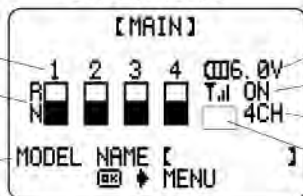
《液晶画面》

各種情報、セッティングを表示します。

○チャンネル

○リバース設定状態
R側■: リバース
N側■: ノーマル

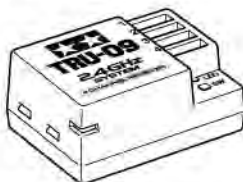
○モデルネーム



《受信機》

送信機からのコントロール電波を受け、パルス信号に変換して、サーボやESC、マルチファンクションユニットへ送ります。

●受信アンテナ内蔵



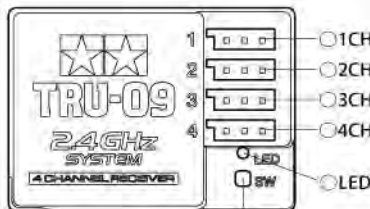
○リンクスイッチ

ベアリングを行うときに使用します。

○LED

受信機の状態を表示します。信号を受信している場合は点灯、受信していない場合は消灯します。

	LED
受信なし (ベアリング設定前、又は不一致)	消灯
受信状態 正常 (ベアリング設定完了)	点灯
受信状態 (ベアリング中)	点滅



○リンクスイッチ

○1CH: 右スティック左右操作 (1ch・ステアリング) のサーボまたはユニットコネクタを接続します。

○2CH: 左スティック上下操作 (2ch・スロットル) のサーボまたはユニットコネクタを接続します。

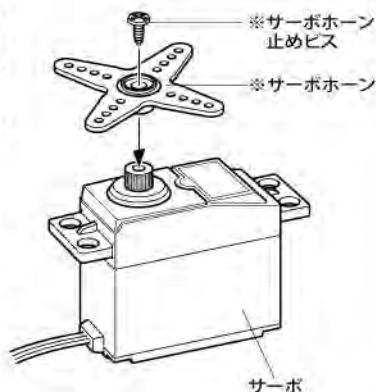
○3CH: 右スティック上下操作 (3ch) のサーボまたはユニットコネクタを接続します。

○4CH: 左スティック左右操作 (4ch) のサーボまたはユニットコネクタを接続します。

★搭載するRCモデルの配線指示に従ってください。

《サーボ》

受信機からのパルス信号を受け、車輛のステアリングなどを動かす役目をします。



※サーボホーン、止めビスなどは車輛キット付属のものを使用してください。

《スイッチの入れ方》

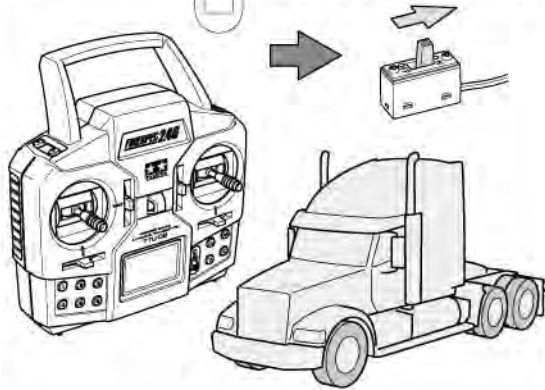
1. ON

送信機スイッチ



2. ON

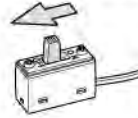
受信機スイッチ、
マルチファンクションスイッチ



《スイッチの切り方》

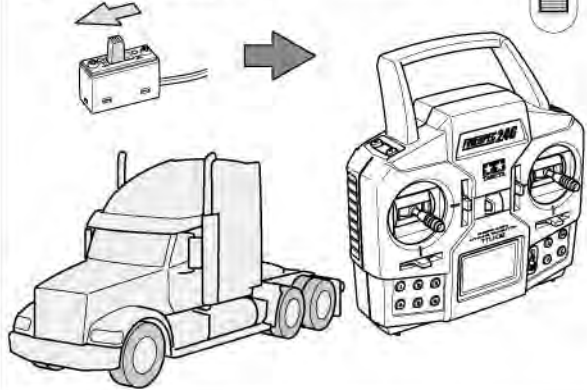
1. OFF

受信機スイッチ、
マルチファンクションスイッチ



2. OFF

送信機スイッチ

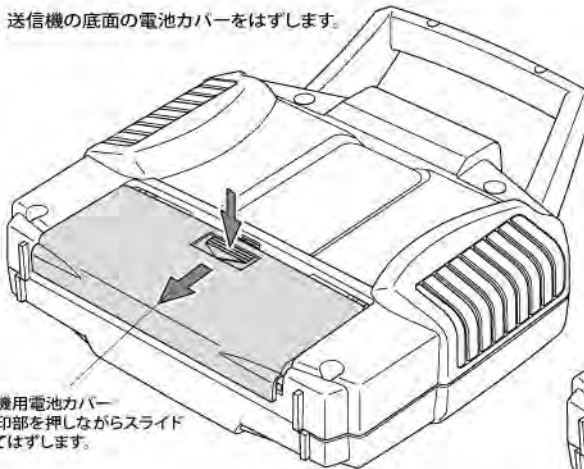


送信機の電池の入れ方



電池交換をするときは、すべて新しい電池にしてください。
1本でも減った電池があると、発信する電波が弱くなってコントロールがきかなくなります。

1. 送信機の底面の電池カバーをはずします。



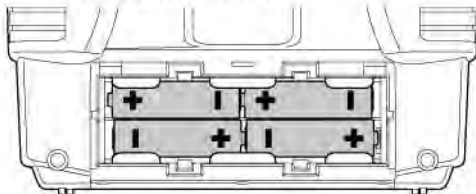
送信機用電池カバー
★矢印部を押しながらスライド
させてはずします。



単3形電池4本

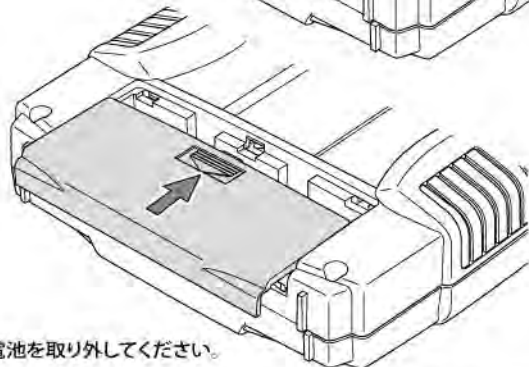
⚠ 電池一本につき1.5Vを超えるものは使用しないでください。

2. 電池ボックス底面に描かれた電池の向きにあわせて電池を入れてください。



⚠ 電池のプラス、マイナスの極性を間違えると送信機が破損します。
古い電池と新しい電池、また種類の違う電池を混ぜて
使用しないでください。

3. 電池カバーを取り付けます。



使用したあとは、必ず電池を取り外してください。

基本操作 (トレーラーモデル操作例)

※車輛によっては操作方法が異なります。車輛キット付属のオペレーションマニュアルやコントロールユニットの説明書を参照してください。

●スロットル (2CH)

車の停止、前進後進のスピードコントロールの操作を行います。ニュートラルで停止、上に倒すと前進、下に倒すと後進します。

●ステアリング (1CH)

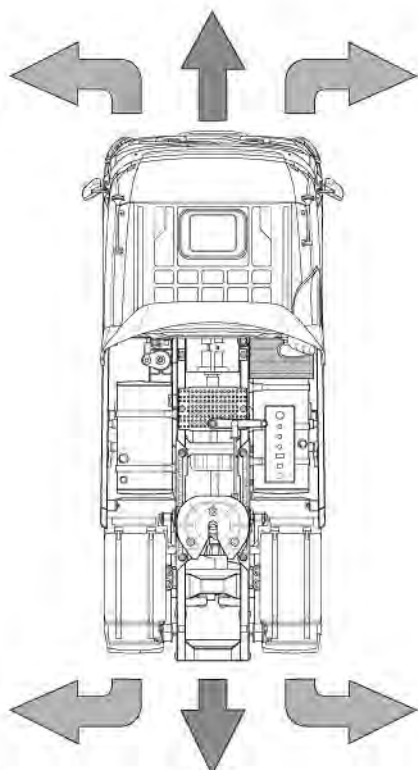
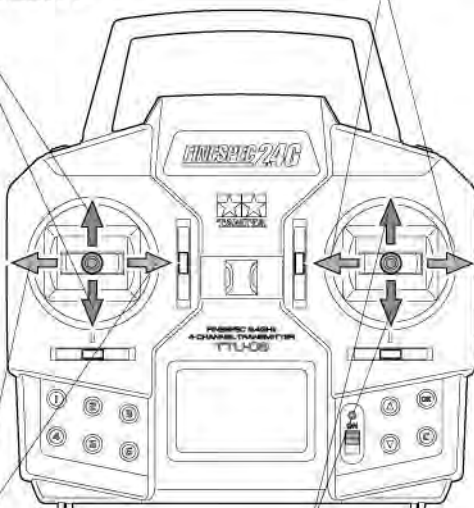
スティックを左右に倒して車の方向を変えます。倒す角度に応じてステアリングの舵角が変わります。

●シフトチェンジ (4CH)

スティックを左右に倒すことでギヤチェンジをします。

●オプション操作 (3CH)

スティックを上下に倒すことでホーン、オートサポートレグなどのオプション操作が行えます。



ニュートラルの調整 (トレーラーモデル操作例)

●スロットルトリム (2CH)

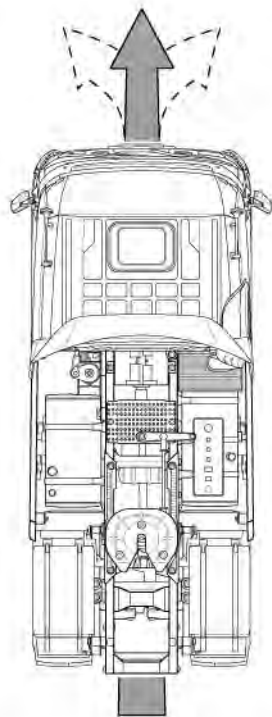
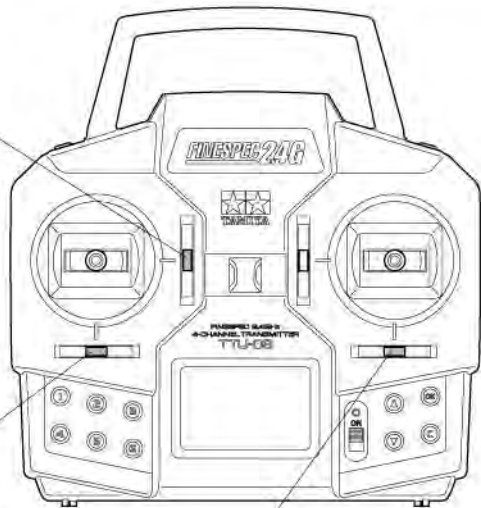
スティックを操作しないのにRCカーが動いてしまう場合は、スロットルトリムを上下させて調整します。車が前進する場合は、トリムを下に、後進する場合はトリムを上動かして調整します。

●シフトチェンジトリム (4CH)

トランスミッションのシフトフォークの位置が合わない場合は、シフトチェンジトリムで調整します。

●ステアリングトリム (1CH)

スティックを操作しない状態で車がまっすぐ走らない時はステアリングトリムで調整します。車を走らせ、左に曲がるようならトリムを右に動かし、右に曲がるようなら、トリムを左に動かしてまっすぐ走るように調整します。



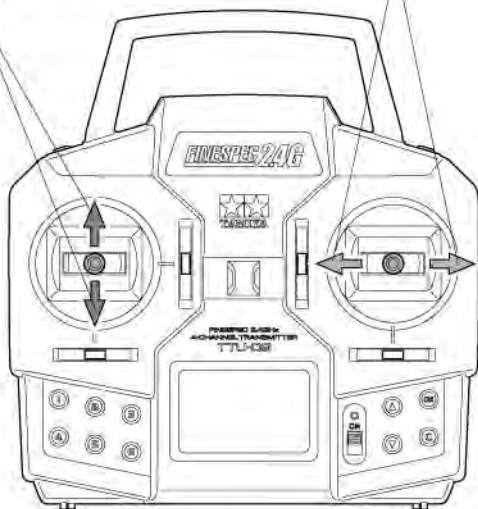
★トリムレバーはオプション操作をする場合にも使用します。車輛キット付属のオペレーションマニュアルやコントロールユニットの説明書を参照してください。

★フルオペレーションシステムの場合、トリムレバーによる3CHと4CHのニュートラル調整はできません。

※車両によっては操作方法が異なります。車輛キット付属のオペレーションマニュアルやコントロールユニットの説明書を参照してください。

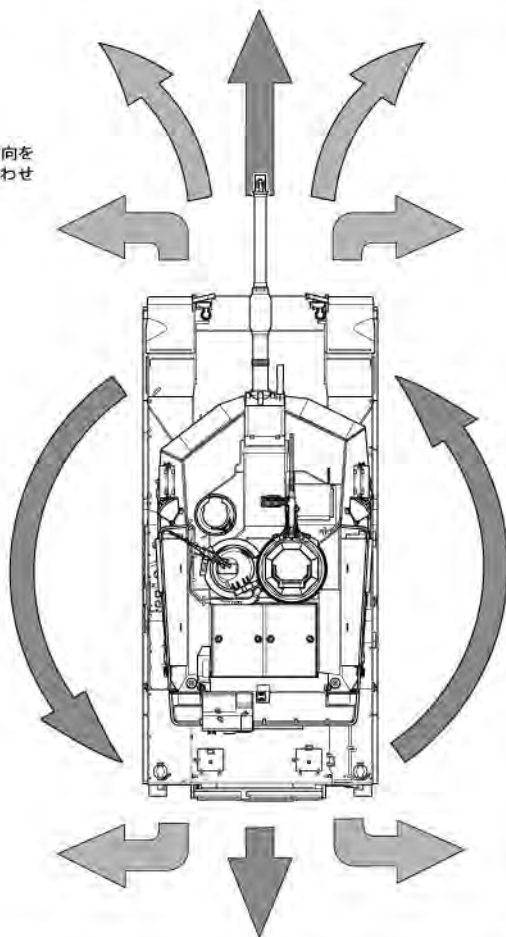
●スロットル (2CH)

上下操作に合わせて車体が前進、後進します。ニュートラルで停止、上に倒すと前進、下に倒すと後進します。スティック操作量に合わせて車体の速度も変わります。



●ステアリング (1CH)

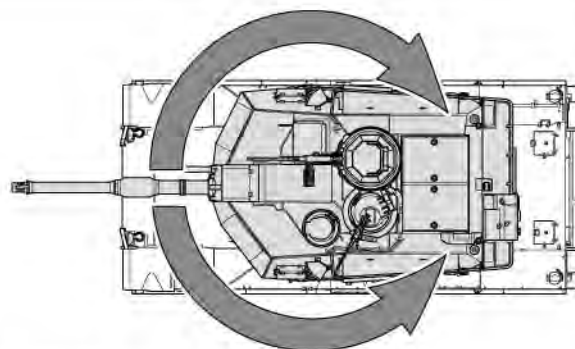
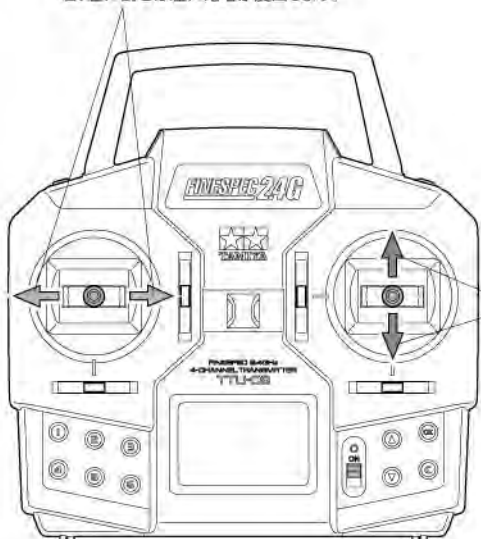
スティックを左右に倒して車輛の方向を変えます。スティックの操作量にあわせて旋回スピードが上がります。



※スロットル (2CH) とステアリング (1CH) のスティック操作量の組みあわせで戦車特有の超信地旋回、信地旋回、緩旋回の操作ができます。

●砲塔旋回 (4CH)

コントロールスティックを右に倒せば右、左に倒せば左に砲塔が旋回します。



●砲身の上下 (3CH)

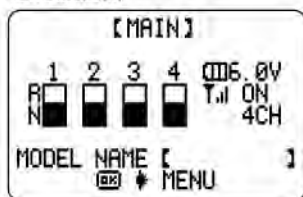
コントロールスティックを上には倒すと砲身が上がり、下に倒すと砲身が下がります。



MENU画面の呼び出し方

●MAIN画面を表示させた状態でOKボタンを押すと、MENU画面に移行します。
MENU画面から各種の機能設定を行います。

●MAIN画面



●MENU画面



●MENU画面でCボタンを押すと、MAIN画面に戻ります。

MENU画面

●△、▽ボタンでカーソルを上下に移動させて項目を選びます。
OKボタンで設定 (SETTING) 画面に移ります。Cボタンで前の画面に戻ります。

●MENU画面



●SETTING画面



●SETTING
送信機の各種設定画面。

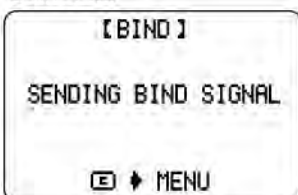
➡ **P.8**



➡カーソルを上下に移動させます



●BIND画面



●BIND
送信機と受信機のペアリング用の設定画面。送信機スイッチ上のLEDが点滅します。

➡ **P.14**



●MODEL MEMORY画面



●MODEL MEMORY
5台分の機能設定を名前を付けて保存できます。

➡ **P.15**



●MENU画面



●RF ON/OFF
送信機より電波を出さずに各種の機能設定が行えます。
送信機から電波を出す (ON)
送信機から電波を出さない (OFF)
OKボタンでON、OFFが切りかわります。



▽でSETTING項目へ移動します。

●△、▽ボタンでカーソルを上下に移動させ機能設定項目を選びます。

OKボタンを押すと各項目の設定画面に移ります。Cボタンで前のSETTING画面に戻ります。

●SETTING画面

【SETTING】
 ▶BUTTON FUNCTION
 CHANNEL SWAP
 CHANNEL REVERSE
 SUB TRIM
 END POINT
 FACTORY RESET
 (E) ▶ MENU



【SETTING】
 BUTTON FUNCTION
 ▶CHANNEL SWAP
 CHANNEL REVERSE
 SUB TRIM
 END POINT
 FACTORY RESET
 (E) ▶ MENU



【SETTING】
 BUTTON FUNCTION
 CHANNEL SWAP
 ▶CHANNEL REVERSE
 SUB TRIM
 END POINT
 FACTORY RESET
 (E) ▶ MENU



【SETTING】
 BUTTON FUNCTION
 CHANNEL SWAP
 CHANNEL REVERSE
 ▶SUB TRIM
 END POINT
 FACTORY RESET
 (E) ▶ MENU



【SETTING】
 BUTTON FUNCTION
 CHANNEL SWAP
 CHANNEL REVERSE
 SUB TRIM
 ▶END POINT
 FACTORY RESET
 (E) ▶ MENU



【SETTING】
 BUTTON FUNCTION
 CHANNEL SWAP
 CHANNEL REVERSE
 SUB TRIM
 END POINT
 ▶FACTORY RESET
 (E) ▶ MENU



●BUTTON FUNCTION画面

【BUTTON FUNCTION】
 ▶TANK A
 TANK B
 TRUCK MFC-01
 PICK-UP MFC-02
 TRUCK MFC-03
 CURRENT SETTING
 (E) ▶ SETTING

●BUTTON FUNCTION

ファンクションボタン1～10の設定が行えます。
 5種類の初期設定から基本設定を選んでカスタマイズできます。

➡ P.9, 10, 11

●CHANNEL SWAP画面

【CHANNEL SWAP】
 ▶TX MODE 4CH
 1CH ▶1 CH
 2CH ▶2 CH
 3CH ▶3 CH
 4CH ▶4 CH
 WRITE
 (E) ▶ SETTING

●CHANNEL SWAP

出力チャンネルを変更できます。

➡ P.12

●CHANNEL REVERSE画面

【CHANNEL REVERSE】
 ▶1CH NORMAL
 2CH NORMAL
 3CH NORMAL
 4CH NORMAL
 WRITE
 (E) ▶ SETTING

●CHANNEL REVERSE

各チャンネルのノーマル、リバースを変更できます。

➡ P.13

●SUB TRIM画面

【SUB TRIM】
 ▶1CH 0%
 2CH 0%
 3CH 0%
 4CH 0%
 WRITE
 (E) ▶ SETTING

●SUB TRIM

各チャンネルのサブトリム機能の設定ができます。

➡ P.13

●END POINT画面

【END POINT】
 ▶1CH L 0% R 0%
 2CH U 0% D 0%
 3CH U 0% D 0%
 4CH L 0% R 0%
 WRITE
 (E) ▶ SETTING

●END POINT

各チャンネルの動作量（サーボ動作角）を左右片側ずつ調整できます。

➡ P.14

●FACTORY RESET画面

【FACTORY RESET】
 ▶NO
 YES
 (E) ▶ SETTING

●FACTORY RESET

出荷時の設定に戻します。

➡ P.13

●工場出荷時はファンクションボタンは未設定です。RC戦車(2種類)、RCトレーラートラック(2種類)、RCピックアップトラック用の5タイプのファンクションボタン設定が用意されています。使用するRCモデルにあわせて設定を選び、登録をしてください。

ファンクションボタンの初期設定は、各RCモデルのオペレーションマニュアル、マルチファンクション説明書にあわせています。また、ボタン設定は変更も可能です。

※変更可能なボタン設定項目はタイプごとに異なります。設定項目はP10、P11を参照してください。

TANK A: マルチファンクションユニット使用戦車(10式戦車、エイブラムス等)

TANK B: DMDユニット使用戦車(IV号戦車、レオパルト2、タイガーI等)

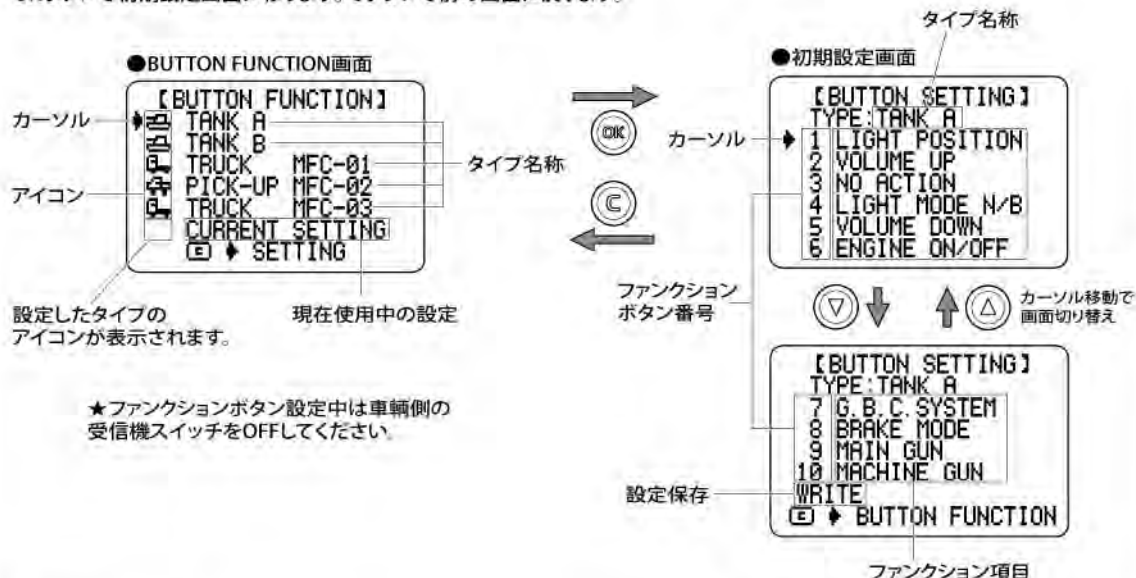
TRUCK MFC-01: マルチファンクションユニットMFC-01使用車

PICK-UP MFC-02: マルチファンクションユニットMFC-02使用車

TRUCK MFC-03: マルチファンクションユニットMFC-03使用車

★車輛に元々装備されていないファンクション操作をボタンに設定すると、思わぬ誤動作を引き起こすので、設定しないでください。

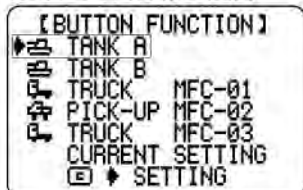
- △、▽ボタンでカーソルを上下に移動させてタイプを選びます。
OKボタンで初期設定画面に移ります。Cボタンで前の画面に戻ります。



●タイプ(使用車輛)の選択

- 使用するタイプを選び△、▽ボタンでカーソルを移動、OKボタンを押します。

●BUTTON FUNCTION画面



★TANK A、TANK Bを選択した場合は、SUB TRIM(P13)、END POINT(P14)の調整を行わないでください。ボタン操作ができなくなります。

★MFC-01、MFC-02、MFC-03を選択した場合は、サーボを使用するチャンネルのみSUB TRIM(P13)、END POINT(P14)の調整を±50%の範囲内で行ってください。他のチャンネルは調整を行わないでください。

- △、▽ボタンでWRITEへカーソルを移動、OKボタンを押すと画面にWAIT...の表示がでて、保存が始まります。

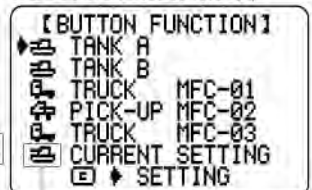
●初期設定画面



★設定変更後は、いったん、送信機スイッチを入れ直してください。

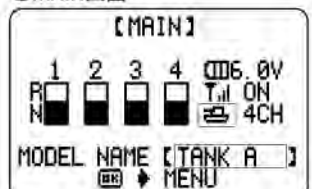
- 保存完了後にはBUTTON FUNCTION画面に戻ります。
★現在使用中の設定になります。

●BUTTON FUNCTION画面



設定したタイプのアイコンが表示されます。

●MAIN画面

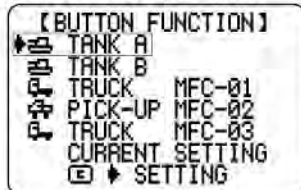


MAIN画面に設定したタイプのアイコンとタイプ名称が表示されます。

●ファンクションボタン設定の変更 (TANK A 変更例)

1. 使用するタイプを選びカーソルを合わせて選択。OKボタンを押します。

BUTTON FUNCTION画面

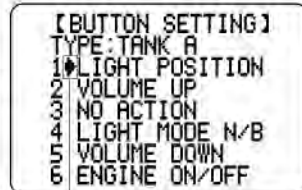


2. 変更したいファンクションボタン番号にカーソルを移動。

初期設定画面

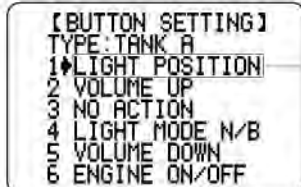


3. OKボタンを押すとカーソルが設定変更位置に移動します。



カーソル位置の項目が変更できるようになります。

4. △、▽ボタンで変更したい項目を選択します。

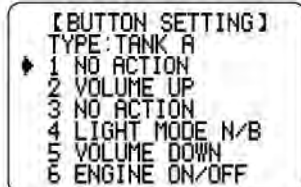


★元々装備されていないファンクション操作を設定しないでください。

設定変更項目 (P10, P11参照)

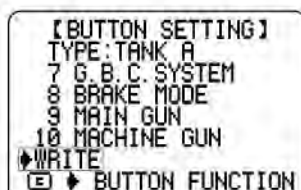
NO ACTION
 MAIN GUN
 MACHINE GUN
 LIGHT POSITION
 LIGHT MODE N/B
 ENGINE ON/OFF
 VOLUME UP
 VOLUME DOWN
 G.B.C. SYSTEM
 ROTATING LIGHT
 BRAKE MODE
 EMPTY 1
 EMPTY 2

5. OKボタンを押して設定。カーソルがファンクションボタン番号へ移動。



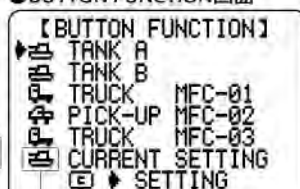
★設定変更は各ボタンごとに行ってください。

6. WRITEへカーソルを移動。OKボタンを押すと画面にWAIT...の表示がでて、保存を始めます。



7. 保存完了後にはBUTTON FUNCTION画面に戻ります。
 ★現在使用中の設定になります。

●BUTTON FUNCTION画面



設定したタイプのアイコンが表示されます。

★設定変更後はMODEL MEMORYに名前を付けて保存しましょう。(P15参照)

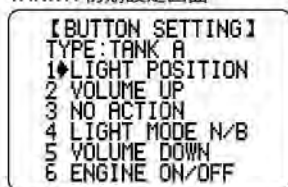
●MAIN画面



MAIN画面に設定したタイプのアイコンとタイプ名称が表示されます。

●ファンクションボタン初期設定

TANK A 初期設定画面



TANK A 初期設定

- 1: ライトポジションの切り替え
- 2: ボリュームを上げる
- 3: 設定無し
- 4: NモードとBモードの切り替え
- 5: ボリュームを下げる
- 6: エンジン停止/エンジン再始動

- 7: 砲安定装置のON/OFF
- 8: ブレーキモードのON/OFF
- 9: 主砲の発砲
- 10: 機銃の射撃

★10式戦車では、8 BRAKE MODE (8:ブレーキモードのON/OFF) の設定はできません。
 NO ACTION (設定無し) に設定の変更をしてください。

TANK A 設定変更項目

NO ACTION
 MAIN GUN
 MACHINE GUN
 LIGHT POSITION
 LIGHT MODE N/B
 ENGINE ON/OFF
 VOLUME UP
 VOLUME DOWN
 G.B.C. SYSTEM
 ROTATING LIGHT
 BRAKE MODE
 EMPTY 1
 EMPTY 2

設定無し
 主砲の発砲
 機銃の射撃
 ライトポジションの切り替え
 NモードとBモードの切り替え
 エンジン停止/エンジン再始動
 ボリュームを上げる
 ボリュームを下げる
 砲安定装置のON/OFF
 回転灯の点灯と消灯
 ブレーキモードのON/OFF
 ※拡張機能 (未設定)
 ※拡張機能 (未設定)

TANK B 初期設定画面

【BUTTON SETTING】
TYPE:TANK B
1 NO ACTION
2 NO ACTION
3 NO ACTION
4 NO ACTION
5 NO ACTION
6 NO ACTION

【BUTTON SETTING】
TYPE:TANK B
7 LIGHT POSITION
8 NO ACTION
9 MAIN GUN
10 MACHINE GUN
WRITE
④ ▶ BUTTON FUNCTION

TANK B 初期設定

- 1: 設定無し
- 2: 設定無し
- 3: 設定無し
- 4: 設定無し
- 5: 設定無し
- 6: 設定無し

- 7: ライトポジションの切り替え
- 8: 設定無し
- 9: 主砲の発砲
- 10: 機銃の射撃

TANK B 設定変更項目

NO ACTION
MAIN GUN
MACHINE GUN
LIGHT POSITION
LIGHT MODE N/B
ENGINE ON/OFF
ROTATING LIGHT
GUN STABILIZER

設定無し
主砲の発砲
機銃の射撃
ライトポジションの切り替え
N/Bモードの切り替え
エンジン音の停止/再始動
回転灯の点灯と消灯
砲身スタビライザーユニットのON/OFF (OP.762)

MFC-01 初期設定画面

【BUTTON SETTING】
TYPE:MFC-01
1 HAZARDS ON/OFF
2 NO ACTION
3 HORN/SPT. LEG
4 DRIVE/REV
5 NO ACTION
6 ENGINE ON/OFF

【BUTTON SETTING】
TYPE:MFC-01
7 LIGHT POSITION
8 HORN(LEG DOWN)
9 HORN(COUPLER)
10 HORN(LEG UP)
WRITE
④ ▶ BUTTON FUNCTION

MFC-01 初期設定

- 1: ハザードのON/OFF
- 2: 設定無し
- 3: ホーン音/サポートレッグ切替
- 4: 走行状態/空ぶかし状態切替
- 5: 設定無し
- 6: エンジン停止/始動切替

- 7: ライト点灯切替
- 8: ホーン(短)またはオートサポートレッグの下降
- 9: ホーン(長)またはカブラーの切り離し
- 10: ホーン(短)またはオートサポートレッグの上昇

MFC-01 設定変更項目

NO ACTION
LIGHT POSITION
HAZARDS ON/OFF
HORN/SPT. LEG
ENGINE ON/OFF
DRIVE/REV
HORN(COUPLER)
HORN(LEG UP)
HORN(LEG DOWN)

設定無し
ライト点灯切替
ウインカー/ハザード切替
ホーン音/サポートレッグ切替
エンジン停止/始動切替
走行状態/空ぶかし状態切替
ホーン(長)またはカブラーの切り離し
ホーン(短)またはオートサポートレッグの上昇
ホーン(短)またはオートサポートレッグの下降

MFC-02 設定変更画面

【BUTTON SETTING】
TYPE:MFC-02
1 LIGHT POSITION
2 HAZARDS ON/OFF
3 BRAKE SETTING
4 NO ACTION
5 NO ACTION
6 ENGINE ON/OFF

【BUTTON SETTING】
TYPE:MFC-02
7 TURN SIGNAL L
8 MAIN BEAM
9 TURN SIGNAL R
10 HORN
WRITE
④ ▶ BUTTON FUNCTION

MFC-02 初期設定

- 1: ライト点灯切替
- 2: ウインカー/ハザード切替
- 3: ブレーキ設定切替
- 4: 設定無し
- 5: 設定無し
- 6: 疑似エンジン停止/始動

- 7: ウインカー左
- 8: ハイビーム
- 9: ウインカー右
- 10: ホーン

MFC-02 設定変更項目

NO ACTION
LIGHT POSITION
MAIN BEAM
TURN SIGNAL L
TURN SIGNAL R
HORN
ENGINE ON/OFF
HAZARDS ON/OFF
BRAKE SETTING
NORMAL/OPTION
OP 1 N
OP 1 R
OP 2 N
OP 2 R
OP 3
OP 3 RESET

設定無し
ライト点灯切替
ハイビーム
ウインカー左
ウインカー右
ホーン
疑似エンジン停止/始動
ウインカー/ハザード切替
ブレーキ設定切替
ノーマル/OP ①、②切替
OP ① N ※拡張機能(未設定)
OP ① R ※拡張機能(未設定)
OP ② N ※拡張機能(未設定)
OP ② R ※拡張機能(未設定)
OP ③ ※拡張機能(未設定)
OP ③ リセット ※拡張機能(未設定)

MFC-03 設定変更画面

【BUTTON SETTING】
TYPE:MFC-03
1 LIGHT POSITION
2 HAZARDS ON/OFF
3 HORN/SPT. LEG
4 HAZARDS A/B
5 HORN A/B
6 ENGINE ON/OFF

【BUTTON SETTING】
TYPE:MFC-03
7 TURN SIGNAL L
8 MAIN BEAM
9 TURN SIGNAL R
10 HORN(COUPLER)
WRITE
④ ▶ BUTTON FUNCTION

MFC-03 初期設定

- 1: ライト点灯切替
- 2: ウインカー/ハザード切替
- 3: ホーン/オートサポートレッグ切替
- 4: ハザード音切替
- 5: ホーン音切替
- 6: 疑似エンジン停止/始動切替

- 7: ウインカー左
- 8: ハイビーム
- 9: ウインカー右
- 10: ホーンまたはカブラの切り離し

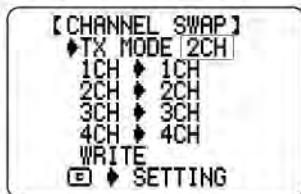
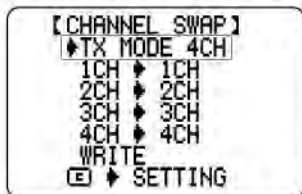
MFC-03 設定変更項目

NO ACTION
LIGHT POSITION
MAIN BEAM
TURN SIGNAL L
TURN SIGNAL R
HORN(COUPLER)
LEG UP
LEG DOWN
HORN/SPT. LEG
HAZARDS ON/OFF
ENGINE ON/OFF
HORN A/B
HAZARDS A/B

設定無し
ライト点灯切替
ハイビーム
ウインカー左
ウインカー右
ホーンまたはカブラーの切り離し
オートサポートレッグの上昇
オートサポートレッグの下降
ホーン/オートサポートレッグ切替
ウインカー/ハザード切替
疑似エンジン停止/始動切替
ホーン音切替
ハザード音切替

●TX MODEの変更 (4CH設定→2CH設定)

1. TX MODEにカーソルを合わせてOKボタンを押すと2CH表示になり、送信機スティックの1CHと2CHの操作のみが有効になります。もう一度OKボタンを押すと4CH表示に戻ります。



●TX MODE 2CH

★3CHと4CH操作はできません。

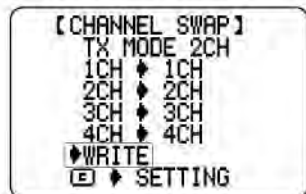
★TX MODE 2CHに変更した場合は、現在使用中のTRU-09受信機(4CH)とのペアリングが解除されます。そのまま、2CH設定として使用する場合には、ペアリングを行ってください。(P14参照)

★TX MODE 2CH設定では、TRU-08受信機(2CH)をペアリングして使用できます。TRE-01ユニットは使用できません。

★2CH仕様のRC M4シャーマン戦車は、2CHのままではファンクションボタン操作ができません。TX MODE 4CH設定で使用してください。



2. 設定終了はカーソルをWRITEに合せてOKボタンを押して保存します。



3. 保存終了後にはSETTING画面に戻ります。



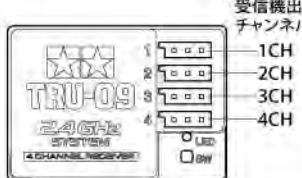
★MAIN画面の使用チャンネル表示が4CHから2CHに変わります。

●出力チャンネルの変更

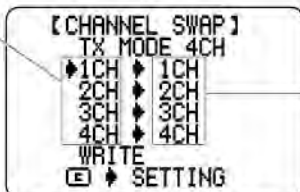
受信機出力チャンネル(CH)に対して、送信機のスティック操作チャンネル(CH)を変更できます。

★出力チャンネル変更後には、CHANNEL REVERSE (P13)、SUB TRIM (P13)、END POINT (P14)を再調整してください。

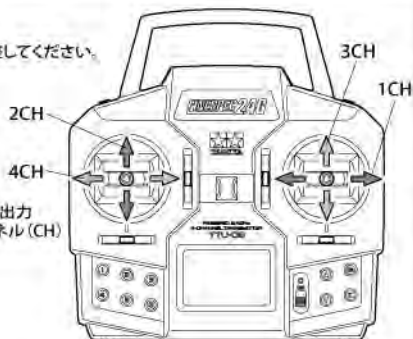
1. 変更したいチャンネル(CH)をカーソルボタンで選択します。



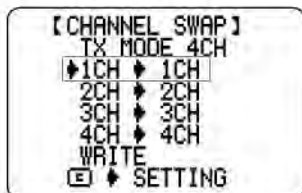
受信機出力
チャンネル(CH)



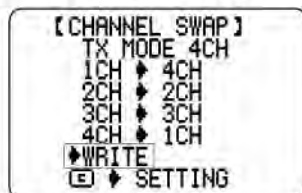
送信機出力
チャンネル(CH)



2. OKボタンを押すたびにチャンネル(CH)が切り替わります。(1~4CH)



3. 変更終了後はカーソルをWRITEに合せてOKボタンを押して保存します。

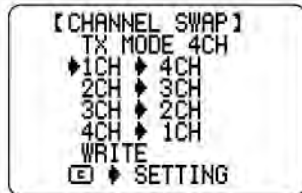


4. 保存終了後にはSETTING画面に戻ります。



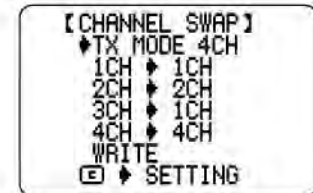
設定例：左右スティックの操作入れ換え
1CH↔4CH, 2CH↔3CH

下図の設定で、左右のスティック操作が入れ換わります。



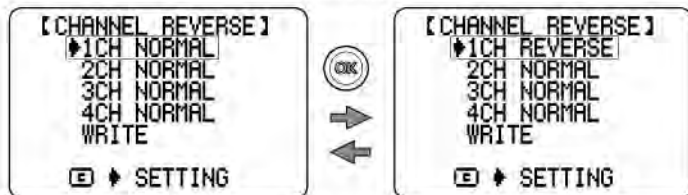
設定例：ステアリング2サーボ設定
1CHと3CHのサーボが同時に動く

下図の設定で、1CHスティック操作で2サーボの操作が行えます。



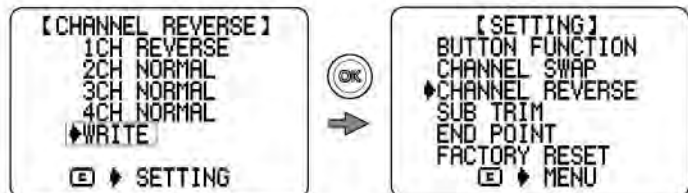
●サーボのノーマル(正転)、リバース(逆転)を変更できます。

1. 調整するチャンネル(CH)にカーソルを合わせて選択、OKボタンを押します。
OKボタンを押すたびにNORMAL/REVERSEが切りかわります。

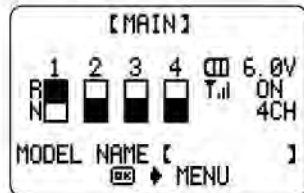


★RC戦車をリバース設定で使用する機種は、必ず、ティーチング後にリバース設定を行ってください。

2. 調整終了後はカーソルをWRITEに合わせ、OKボタンを押して保存します。
SETTING画面に戻ります。



●MAIN画面



★MENU画面の表示が変更されます。

SUB TRIM

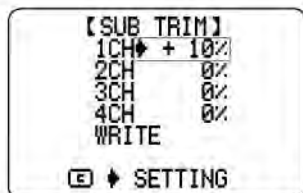
★TANK A, TANK BのBUTTON FUNCTION設定時は、調整しないでください。
★MFC-01, MFC-02, MFC-03のBUTTON FUNCTION設定時は、±50%以内で調整してください。

●ニュートラル調整(サーボの場合など)の微調整に利用してください。
★トリムレバーは中立位置にしてください。

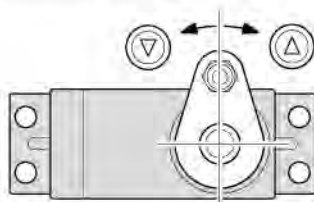
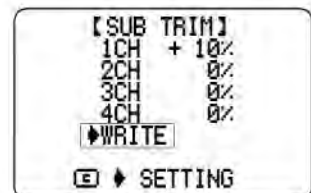
1. 調整したいチャンネル(CH)にカーソルを合わせて選択、OKボタンを押します。



2. カーソルが移動して調整可能になります。



4. 調整終了後はカーソルをWRITEに合わせてOKボタンを押して保存します。



3. △, ▽ボタンで調整します。

- △ボタンを押すと+表示(+1~+100)され時計回りに動きます。
▽ボタンを押すと-表示(-1~-100)され反時計回りに動きます。

5. SETTING画面に戻ります。



★SUB TRIM調整でニュートラル位置をずらすと、END POINT位置もずれます。

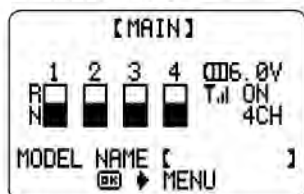
FACTORY RESET

●送信機の全ての設定を出荷時の初期状態にリセットします。

カーソルをYESの位置にして、OKボタンを押すとリセットを始めます。



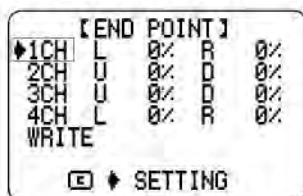
設定がリセット(出荷時状態)されると、MAIN画面に戻ります。



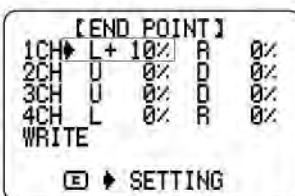
●スティック操作による動作量を個別に設定できます。

★CHANNEL REVERSE設定後に調整してください。

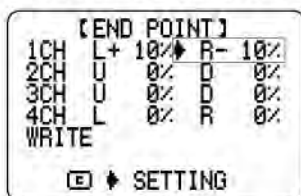
1. 調整したいチャンネル(CH)をカーソルで選択、OKボタンを押します。



2. カーソルが移動して L, U側の調整可能になります。

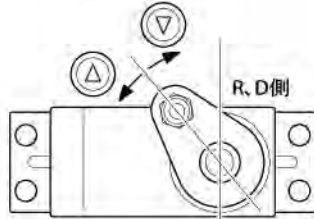
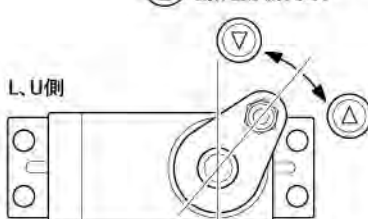
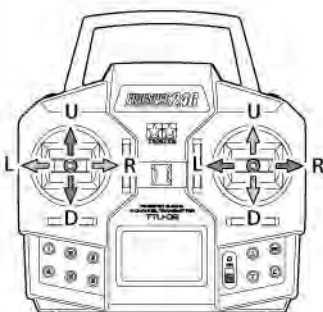


3. OKボタンを押すと、カーソルが移動して R, D側の調整可能になります。

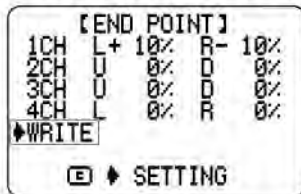


△ボタンを押すと+表示(+1~+100)され動作量が増えます。

▽ボタンを押すと-表示(-1~-100)され動作量が減ります。



4. 調整終了後はカーソルをWRITEに合わせてOKボタンを押して保存します。



5. SETTING画面に戻ります。

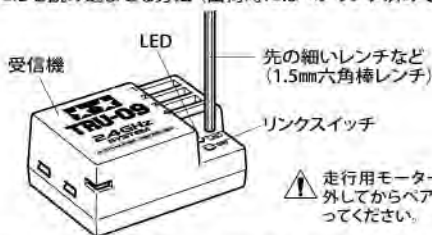


★END POINTを減らして、動作量を小さくし過ぎるとファンクション操作ができなくなる場合がありますので注意してください。

BIND (ペアリング)

●ペアリング

受信機にIDを読み込ませる方法 (出荷時にはペアリング済みです。)



⚠ 走行用モーターの配線を外してからペアリングを行ってください。

以下の操作により、送信機のID番号が受信機に読み込まれます。このID番号の識別により2.4GHzシステムは他の送信機からの信号を受け付けません。

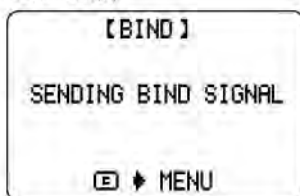
1. 送信機と受信機を1m以内に近づけます。
2. 受信機のリンクスイッチを押しながら、受信機の電源をONにします。このとき受信機のLEDが赤色に点滅をします。

●フェイルセーフ (出荷時にはOFFの設定になっています。)

この機能は受信機が送信機からの正常な信号を受信できなくなったときに、スロットルをニュートラル位置に移動させ、車両の暴走等を防ぐための機能です。送信機からの信号を再度受信できた場合、フェイルセーフが解除されます。

⚠ 走行させる前に、車両を台に乗せて走らないようにして、送信機スイッチをOFFにして、フェイルセーフ機能が作動するかどうかを確認してください。

●BIND画面



電源LED
★BIND画面時は点滅



送信機スイッチ

3. 送信機の電源をONにします。
4. MENU画面からBINDを選択して、OKボタンを押します。このとき送信機の電源LEDが点滅します。
5. ペアリングが成功すると受信機のLEDが赤色の点灯になります。
6. 送信機の電源LEDは点滅を続けています。BIND画面でCボタンを押してMENU画面に戻します。
7. 送信機と受信機の電源を入れなおして、確実に作動することを確認してからご使用ください。

フェイルセーフON 設定方法

1. 送受信機の電源を入れた状態で、スティックをニュートラル位置にして、受信機のリンクスイッチをLEDが点滅するまで押します。
2. LEDが点滅し始めたら、リンクスイッチを離してください。点滅し始めからLEDが6回点滅して、フェイルセーフが有効となり、通常動作にもどります。

フェイルセーフOFF

フェイルセーフを解除するには、再度ペアリングを行ってください。

呼び出したいメモリー番号、書き込みたいメモリー番号、削除したいメモリー番号にカーソルを合わせてOKボタンを押して、MEMORY MENU画面に移行します。

●MODEL MEMORY画面



メモリー番号

モデルネーム

●MEMORY MENU画面



●READ

メモリー設定の呼び出し
呼び出したモデルネームがMAIN画面に表示されます。
★出荷時の初期状態ではREADは表示されません。(MEMORYに何も入っていない状態)

●WRITE

設定の保存 (モデルネーム書き込み)

●ERASE

メモリーの削除

●WRITE

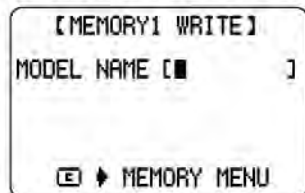
設定の保存 (ネーム書き込み)

使用中 (CURRNT SETTING) の送信機データをMEMORY 1~5に個々に保存することができます。
最大8文字までのMODEL NAME (モデルネーム) を付けて設定を保存します。

●MEMORY MENU画面



●MEMORY WRITE 画面 (ネーム入力)



1. 左画面で△、▽ボタンで文字を選びます。(■の位置に文字、数字が表示されます。)
★必ず、1文字目を入力してください。
2. OKボタンで決定、■が右に移動します。
3. 次の文字を△、▽ボタンで文字を選びます。
4. 8文字目を選んでOKボタンを押す。
- ★Cボタンで1文字戻ります。

《入力文字、数字》

ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ
1234567890

■スペース入力★1文字目には使用できません。



●MEMORY MENU画面

画面に「WAIT...」の表示

OKボタンを押すと、
データが保存されます。

●READ

メモリー設定の呼び出し

●MEMORY MENU画面



●MEMORY READ 画面



●MEMORY MENU画面

画面に「WAIT...」の表示

YES位置でOKボタンを押すと、
MEMORYデータを呼び出します。

●ERASE

メモリーの削除

MEMORY 1~5のデータを選択して、個々に削除します。
★削除したメモリーは復元できません。

●MEMORY MENU画面



●MEMORY ERASE 画面



●MEMORY MENU画面

画面に「WAIT...」の表示

YES位置でOKボタンを押すと、
MEMORYデータを削除します。



※キットにシフトゲートB(シフトチェンジ用)が付属している場合、必ず取り付けてください。確実なシフトチェンジができないとギヤボックス内部の部品が破損します。

※シフトゲートAはTROP.5オートサポートレックに付属しています。取付方法はTROP.5説明図を参照してください。

★切り取ります。

《スティックの長さ調整》

●コントロールスティックは好みの長さに調整できます。3mmイモネジを緩めて、お好みの長さにスティック上部を回して調整してください。調整後に3mmイモネジで固定します。

★シフトゲートに干渉しない範囲で調整してください。

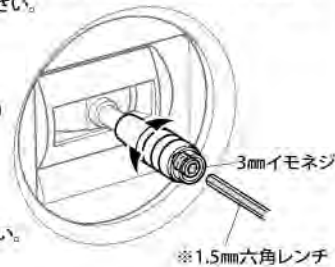
※シフトゲートA(ステアリング用)

★TROP.5に付属しています。

※シフトゲートB(シフトチェンジ用)

★両面テープの台紙をはがして貼り付けてください。

★切り取ります。



走行させるときの手順

★RCモデルを浮かせた状態で作業してください。タイヤ等が接地した状態で操作をすると、調整がうまくいっていない場合不意に暴走する可能性があります。危険です。

1. 送信機用電池、受信機用電源(走行用バッテリー)をセットします。
2. 送信機、受信機の順にスイッチを入れます。
3. スティックを操作し、RCモデル各部の動きを確認します。必要ならトリムで調整してください。
4. RCモデルを走行させます。

5. 走行を終了するときは、受信機、送信機の順でスイッチを切ってください。

6. 送信機の電池、また走行用バッテリーも外します。

★この手順は必ず守ってください。

RCモデルを走らせる時の注意

●混信に注意してください。

2.4GHzシステムは周波数バンドを気にせず走行できますが、周囲の環境によって

は影響を受ける、もしくは影響を与える可能性があります。そのような場合は一旦使用を中断して原因を取り除いてください。

●人ごみや小さな子供の近くで走らせないでください。

●道路では絶対に走らせないでください。

●受信機は厚手の両面テープなどで振動が直接伝わらないように取り付けてください。

●配線コードはショートさせない。

コードのビニールがむけてしまった場合は、ビニールテープをまいて中の金属線をカバーしてください。

●コネクターのつなぎ方に注意。

コネクターはつなぎ方の向きが決まっています。つなぎにくい時は無理に押し込まずに向きを確かめてください。向きをまちがえて無理に押し込むとESCをこわします。

●送信機や受信機には精密電子部品が納められています。内部に水が入ったり、湿気の多いところでは使用しないでください。万が一水が入った時は誤動作したり壊れたりするので、すぐに電源を外して乾かしてください。

保存する時の注意

次のような場所には保存しないでください。変形や故障の原因になります。

●極端に暑いところ(40℃以上)や寒いところ(-10℃以下)

●直射日光のあたるところ

●湿気の多いところ

●振動の多いところ

●埃の多いところ

●蒸気や熱があたるところ

●小さな子供の手の届くところ



《ファインスペック2.4G 4チャンネル スペック》

送信機 : TTU-09
操作方法 : 2スティックタイプ 4チャンネル+10ファンクション
送信周波数 : 2.4GHz帯
使用電源 : 6V(単3形電池4本)
使用電流 : 130mA

受信機 : TRU-09
受信周波数 : 2.4GHz 帯
使用電源 : 4.8-7.4V
使用電流 : 30mA(停止時)
寸法 : 38 x 27 x 18mm(突起物を除く)
重量 : 8.9g

★この規格や仕様は技術開発に伴い予告なく変更する事があります。

●万一不良、不足部品などありましたら、当社カスタマーサービスまでお問い合わせください。

★修理依頼されるときは、

もう一度説明書をよく読んで、チェックをしてください。故障状況を詳しく書いて、製品と共に当社カスタマーサービスまでお送りください。症状がわかることで、修理が早くすすみます。

株式会社タミヤカスタマーサービス

《お問い合わせ番号》

静岡 054-283-0003

東京 03-3899-3765

(静岡へ自動転送)

タミヤインターネットホームページアドレス

www.tamiya.com



TAMIYA

株式会社タミヤ

〒422-8610 静岡県駿河区恩田原3-7